

令和 7 年度第 1 回川崎区地域デザイン会議を開催しました

令和 7 年度第 1 回目の川崎区地域デザイン会議を次のとおり実施しました。

1 日時

令和 7 年 6 月 2 8 日(土) 13 時 30 分～16 時 45 分

2 場所

川崎市役所本庁舎復元棟 301 会議室

3 参加者

24 名（無作為抽出した 18 歳以上の川崎区民約 1,600 人のうち、参加を希望された方）

4 テーマ

下記の 2 つのテーマについて、現状や課題を共有し、課題解決のためのアイデアについて、検討・提案いただくワークショップを行いました。

- テーマ①：低利用公園緑地の利活用
- テーマ②：公園緑地の維持管理



【当日の様子 1】

5 主な意見

【テーマ①：低利用公園緑地の利活用】

◆アイデア

- 都市部や市街地の公園ではできないことができる公園（スケートボード、ボール遊び、ドックランなど）
- 万人受けする公園ではなく、何かに特化した特徴のある公園。用途をはっきりさせる（有料でも OK）
例：農園・菜園化、夜景を楽しめる、飛行機の離着陸が間近で見える等
- 有料施設として整備し、管理人の常駐やきれいなトイレなどを特別感のある公園
- 定期的にワークショップやイベント、フェス等を開催する公園
- ネットやフェンス等の囲いを設置する。（ボールが飛び出さないだけでなく、利用者を限定する役割も）
- Wi-Fi の設置や勉強のできる場所がある公園（屋内施設）
- ランニングステーション機能を持つ公園
- 雨天の影響を受けない屋根のある公園

◆実現に向けての必要な行動等

- まず、実証実験として、色々と試してみる
- 必要な機能等について、マーケティングを行う
- インスタグラム等の SNS を活用し、若い世代に向けて積極的に情報発信する。
- 市民を巻き込んでみんなで P R を行う
- 企業と組んで一緒に活動やイベントを実施する
- 公園に行くバス等の交通環境の整備（駐車場整備、バス停の設置や無料のコミュニティバス等）
- 登録制として利用者を限定する
- 人気のある公園に低利用公園緑地を紹介する看板等を設置する



【当日の様子 2】



【当日の様子 3】

【テーマ②：公園緑地の維持管理】

◆アイデア

- 愛護会、協議会の存在を広報して、認知度向上（市政だよりに公園の維持管理に関する記事を毎月連載等）
- 既存組織の名称をわかりやすく、親しみやすい名称に変更する
- 公園管理に参加したい人と維持管理をしている人をマッチングする仕組みや誰でも気軽に公園管理に参加できる仕組みの構築
- 維持管理を公園利用者の義務とする（スポーツチーム等の習い事の関係者に協力してもらう。）
- マイ公園制度を作り、愛着を持って活動してもらう。
- 公園のネーミングライツとして命名権の販売や、有料イベントを開催する等、収益を上げて維持管理資金にする。
- 活動成果を発表する機会や公園の管理状況を競うコンテスト等を開催し、競争の要素を持たせ、やりがいや質の向上に繋げる
- 学校の授業の一環として管理を行うとともに、アイデア提案や意見等を取り入れ実行する
- 維持管理活動に特に貢献した団体等に特定の日に普段できないこと(グランピング・キャンプ・バーベキュー等)ができる権利をプレゼントする
- 託児サービスや体験教室の併用した活動にする。（子育て世帯が子供を預け、安心して参加できる環境づくり）
- デイサービスと連携するなど、高齢者に活動してもらうことで健康につなげる

◆実現に向けての必要な行動等

- それぞれの状況に合わせた参加方法を選べるようにする（やれる範囲での参加で OK）
- 誰もが参加できるよう維持管理に関するわかりやすいマニュアルの整備
- 協力者・支援者を集める
- キッチンカー等呼び、日常的に公園に来る環境を整える
- 協力してくれる企業に表彰制度や認定制度などのインセンティブを設ける
- ヤギ等の動物に除草してもらう

6 今後について

今回いただいた御意見や御提案は、課題の解決に向けて今後の取り組みの参考にさせていただきます。



【当日の様子4】